# CSRの和

～大川らしさをまごころこめて～

第 9 号
2010.11

「食材ピクトグラム」プロジェクト進行中

「インターンシップを振り返って」

明治時代に使用されていたマーク

Since1881

こんにちは。ようやく秋が深まり冬の訪れを感じる季節になってきました。
今回の CSR の和は 2010 年後半に向かって社内の取り組みを多く取り上げました。そして、インターン生の取り組みもまとめを行ないそれぞれ詳しくレポートさせていただきたいと思いますので、楽しんで読んで頂けると嬉しいです☆
それでは次のページへどうぞ♪

株式会社 大川印刷

# 1 インターンシップを振り返って

阿川　美紀

## 五感に訴える印刷物のプロジェクト

**3月～4月**

### 社長同行・社内研修を通じ、ビジネスマナーや物事の考え方を学ぶ

### 企画・デザイン課研修ではものづくりの楽しさ、工場研修では印刷方法や品質管理について学ぶ

これらの経験はソーシャルビジネスの種を考える上でとてもためになった。

**5～7月　五感に訴える印刷物のプロジェクト始まる**

### ソーシャルビジネスの種は、「視覚を越えた、香りを生かした印刷」に決定

横浜市の“市の花”がバラということで、横浜開港150周年を記念して市民が名づけたバラ「はまみらい」を用いてバラの香りを活かした大川印刷オリジナルローズインキを作り、香る名刺をAPECで横浜市長、副市長に人々への「おもてなし」をするツールとして使っていただく、という企画を進行。

### ローズインキに使用する香料の製作に取り組む

**①インキの一部に利用するため「はまみらい」を含む花びらを蒸留し、精油の抽出を試みた**
蒸留では残念ながら精油は抽出できなかった。

蒸留に使用した花弁

**②オリジナルローズインキ（こすると香りがするインキ＝芳香インキ）の試作**
芳香インキ試作は成功。

**③調香師　蓬田先生による「はまみらい」の香りの分析**
分析結果報告書の完成。

「はまみらい」の
香りの分析結果報告

その後、横浜市共創推進事業本部の杉山様に企画のご相談、アドバイスを頂く。
最終目標の商品化までインターン期間中にはたどりつけなかったが、11月のAPECにおいて横浜市林市長にバラの香りのする名刺（多言語表示も）を寄贈させていただくことができた。

**ご協力頂いた皆様**
久保井インキ株式会社、京成バラ園芸株式会社、有限会社田中農場、豊玉香料株式会社、トヨタマ健康食品株式会社、横浜市共創推進事業本部、蓬田バラの香り研究所

## 「CSRの和」5～9号を編集して

**第5号　年度末もイベント盛りだくさん♪**

「CSRの和」の編集は初めてでとっても苦戦しました。しかし、印刷研修で刷りあがりを見たときの感動は忘れられません。

**第6号　心機一転「委員会制」キックオフ**

いよいよ3期インターン生２人だけの編集となりました。堀井さんと熱い討論をかわしながら制作した懐かしい思い出があります。

**第7号　横浜環境活動賞「大賞」受賞**

読者からCSRの和の感想を多くいただくようになり、CSRの和の編集のやりがいを強く感じるようになりました。

**第8号　大川印刷 古紙のリサイクル経路追跡!**

この号は校正が長くつづき、堀井さんと苦しみましたが、堀井さんとお互いの協力の仕方も確立してきたように思います。

**第9号　インターンシップを振り返って**

9号では、私たちインターンの活動の集大成を載せました。編集や、印刷について何も知識のなかった私ですが、「CSRの和」制作で多くのことを学びました。「CSRの和」の編集は思い出が沢山詰まっています。沢山の方々に協力していただいてなんとかここまで作ってくることができました。本当にありがとうございました。

## インターンシップを終えて　出会い、学び、感じたことを伝えて社会貢献に

3月から7月までの5ヶ月間、大川印刷でとても内容の濃いインターン生活を過ごさせていただきました。インターンでは楽しいことも辛いこともあり、特に辛いときには自分の駄目な部分が見えてきて落ち込むことも沢山ありました。しかし、自分自身について知ったことや、インターンで得た沢山の素敵な新しい出会い、そして、これまでお世話になった方々から受けた愛情は今後の人生の財産になると信じています。ご協力、ご指導頂いた皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。インターンを通じて学び、感じた事を周囲に伝えることが、会社や周囲への貢献、つまり社会貢献に繋がると思うので、インターン終了後も学んだ事を実践していきたいと思います。

# インターンシップを振り返って

堀井　里奈

## 社内コミュニケーションの推進

**3月～4月**

### インターン開始

### 社内研修

社長同行・営業同行
企画・デザイン課研修
製造部研修・総務部研修

企画・デザイン課研修では
自己紹介カードを作りました

### CSRの和5号編集

**5月**

### ソーシャルビジネスの種10個提出

横浜スカーフ柄折り紙の新土産・和綴じ本メモ帳
UDフォント歌詞・MUD紙芝居の商品化など提案。

**6月**

ソーシャルビジネスのうち、一つに取り組むが、会社、社会への貢献が商品化で可能か？の疑問に悩み、全く別の方向を探る。

工場研修の間に古紙が回収され、リサイクルされることを知り、何にどうやってリサイクルされるのかを疑問に思った。

**7月**

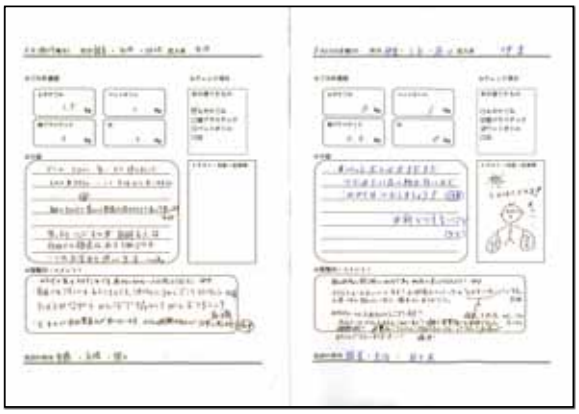
### 環境整備を通じた社内コミュニケーションの推進に決定

社内廃棄物のリサイクル推進や環境整備を通じて社員の意識の共有やコミュニケーションの向上を図り、仕事の効率UP、また、社会への貢献が活性する取り組みはできないか考えた。

**8月**

社内環境整備と並行して廃棄物のリサイクル推進と環境整備を呼び掛け社内コミュニケーションの提案を行う。

**①分別表の設置**
**②リサイクル**
**コミュニケーション**
**ノートの提案**



リサイクルコミュニケーションノート使用例

### 会社への提案

**◆分別表の設置◆**

事業系産業廃棄物の処理は産業廃棄物処理業者に委託することになっていますので、廃棄物回収業者によって事業系ごみの分別方法が異なります。回収業者と社員と相談し、リサイクルしやすく当社にあった分別方法を提案。分かりやすい分別表を作成し、見える化をしました。

**◆リサイクルコミュニケーションノート◆**

分別を通じた社内コミュニケーションの向上を狙いとして、互いに協力し、ごみ捨ての分担やごみの排出量の計量を行います。
リサイクルコミュニケーションノートに排出された資源の数値と分別状況や気づいたことなどと合わせて記録し、他の社員からコメント欄を設けて、社員のコミュニケーションを図ります。
測量したデータは今後CSR活動レポートに掲載します。

## インターンシップを終えて　人との出会い、話し合いが働くことを楽しくしてくれる

3月からの半年間、大川印刷で本当に多くの経験をさせて頂きました。振りかえると、横浜に来て始めの2カ月はできないことや分からないことが多く、落ち込んでばかりいました。特にプロジェクトの変更を行う際には悩み、苦しみましたが、多くの社員の方に助けの手を伸ばしてもらい、ここまで来ることができたと思います。また、インターン中に、本当に多くの方と出会わせて頂き、人と実際に会って話をすることが自分の行動力につながって、働くことを楽しくしてくれるということに気づきました。インターンを通じて少しだけ自分の軸ができてきたように思います。今後、この学びや経験を生かして社会に貢献していくことで、お世話になった方々への恩を返していきたいと思います。半年間、ありがとうございました!!

# 2 第２回オープン・スペース・テクノロジー
## 「大川印刷のワクワク計画」開催

7月24日に本社食堂で2回目の「オープンスペーステクノロジー」がビジョン策定委員会と有限会社人事・労務の金野先生を交えて開催されました。今回は、「中期ビジョン」を意識して行いました。

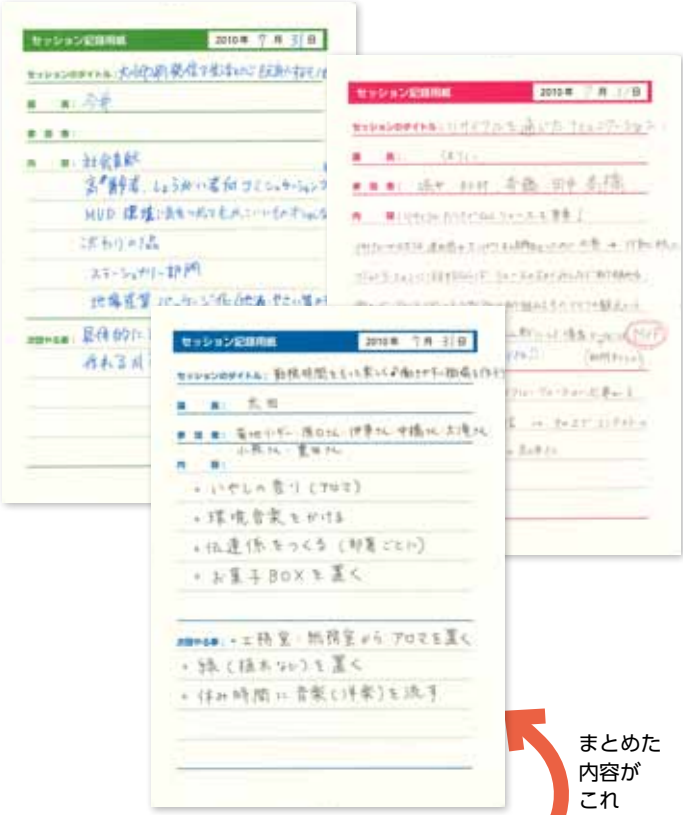
小テーマは

**①「リサイクルを通じたコミュニケーションとは？ 大川印刷リサイクル隊を結成したい」**

**②「勤務時間をもっと楽しく♪ 働きやすい職場を作ろう！」**

**③「大川印刷発信で生活と心を元気にするモノを作ろう!!」**

２回目ということもあって、みなさんリラックスしていたように思われます。開始したとたん各テーマごとのテーブルで盛んに意見交換がなされました。時折、笑い声もあちらこちらで飛び出したり、他のテーブルの様子をうかがいに行ったつもりが、いつの間にか座り込んで意見交換したり、と活発に議論されていました。あとは、皆で協力しあい、決定した各テーマを実行していきましょう。



まとめた内容がこれ

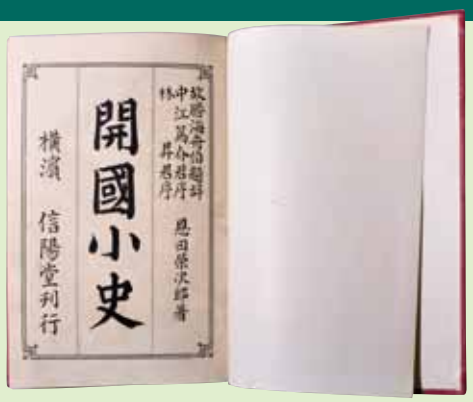
オープンスペーステクノロジー（OST）とは？
参加者が興味のあるテーマに参加し、「実践」につながる具体的な行動を考え出すための希望参加型ファシリテーション（会議の手法）です。

OSTについて解説中の金野さん

皆で意見交換中

考えを模造紙へ自由に記入

# 発見！開国小史




インターネットの普及によって、国内外を問わず商品を探しやすくなりましたが、これを見つけた時はとても感激しました。何度も繰り返し検索し、どのような書物なのか調べました。
出版日の6月2日は開港記念日であると共に、出版された明治32年は勝海舟の亡くなった年でもあります。我が国の開国のやり取りを記録した、しかも歴史的人物が関わる書籍を自社で印刷していたことを誇りに思うと共に、100年を超えてその実物を手にすることができることは、本当に幸せだと思いました。

恩田榮次郎が著し、勝海舟の題辞と、中江兆民の序文をもつ『開国小史』が明治32年に大川印刷で刷られていたことが分かりました！
内容は1853年（嘉永６）、54年（安政元）のペリー浦賀渡来から和親条約締結までの当時の状況が記されています。
大川印刷が歴史的著名人と所縁があることと、横浜で、長くに渡って印刷業を展開してきた歴史を裏付ける大変貴重な書物です。

大川社長

# 3 「食材ピクトグラム」プロジェクト進行中！

## APEC 導入記

第二期インターンの鷲尾さんが取り組んできた「食材ピクトグラム」プロジェクト。鷲尾さんの後を継ぎ、取り組んでいる営業部斉藤から、プロジェクトの報告です。

「食材ピクトグラム」とは、宗教や体質などの理由で「食べられない食材」のある人も安心して食事ができるよう、料理の使用食材を示すピクトグラム（絵文字）のことです。現在、約220万人の外国人が日本で暮らし、年間約760万人の外国人が日本を訪れています。また、約250万人の日本人の方が、食物アレルギーをお持ちです。誰もが安心して食事を楽しめる社会の実現を目指して、NPO法人インターナショクナル、株式会社NDCグラフィックス、横浜市共創推進事業本部と共に、このプロジェクトを進めています。11月のAPEC期間中は、横浜ロイヤルパークホテルをはじめ、市内の主要な6つのホテルや横浜市主催のビジネスリーダー交流会などで表記しました。また、APEC会場の「地元PRブース」試食コーナーでも、食材ピクトグラムを表記し、各国の首脳婦人の方々にもご覧いただきました。ホテルを利用したイスラム教徒の方からは、「表示があることで安心して食事ができる」という声をいただきました。これから日本全国、また世界の統一基準にできるよう、食材ピクトグラム普及推進協議会を設立し、普及に取り組んでいく予定です。みなさんが利用するレストランで見かけることもあるかもしれません。見かけた際は、ぜひご意見をお寄せください！（斉藤）

**食材ピクトグラムを必要としている人々**

| | |
|---|---|
| 日本で生活する外国人 | 約220万人※1 |
| 訪日する外国人数 | 年間約760万人※1 |
| 日本の食物アレルギー保持者 | 約250万人※2（全人口の1～2%） |

※1）　2009年　法務省 入国管理局 統計
※2）　消費者庁　食物アレルギーを含む加工食品の表示ハンドブック

横浜ロイヤルパークホテルでの表示

使用食材の表示をお知らせするパネル

# 4 大川印刷の品質管理とは？

## ISO 審査で再認証されました！

7月20日（火）から3日間、ISO審査が行われ再認証されました。当社は品質・サービスの向上と環境に配慮した事業の展開を行っており、2001年に品質ISO9002（2004年ISO9001に移行）、2002年に環境ISO14001認証取得をして以来、継続的に審査を受けています。

今回はISO9001（2008年版）のバージョンアップ審査と環境ISO14001の維持審査が行われました。

ISO9001とは品質の良い物品やサービスを提供するためのシステムが運営管理できている事を証明するための規格です。お客様が望む、よりよい製品を提供することで、お客様に満足してもらうことを目指します。具体的には企業はISOで記された規格をもとに目的・目標とそれを達成するための方法や作業ルールを決め、**計画［Plan:計画］**したことについて、社内で教育や訓練を行い、**実施［Do:実施］**します。そして、結果について計画との差を**検証［Check:監視・測定］**し、差を埋めるための修正を**改善［Action:改善］**します。その後も運営管理を繰り返し、継続的改善を行います。ISOを取得することで、作業の手順化（ルール）ができ、従業員の作業の仕方が明確になり、作業の無駄をなくすことができます。

当社ではISO運営管理に加えて「製造記録書」の活用をおこなっています。徹底した品質管理（毛髪の混入、血液の付着、異種混入防止等）、及びトレーサビリティーを行うために、製造記録書にすべての作業の記録と品質検査の記録を確実に取ることを当社では義務付けています。これにより、作業の前工程と後工程でのスムーズな情報の流れを作ることと、万一問題やクレームがあった際の即時報告、即時対応、全体の情報共有が可能になり、当社の品質管理を支えています。

3日間にわたる厳しい審査において、当社はその審査項目を無事クリアし、継続的改善が認められ、最終日に審査員に無事ISO9001（2008年版）の再認証を頂きました。（堀井）

PDCAサイクル

品質マニュアル

製造記録書

## 法人会の清掃活動に参加して

7月19日(月)に社団法人横浜中法人会主催で、社会貢献事業活動の一環としての象の鼻パーク並びに山下公園の清掃活動が行われました。当日の天気は快晴、190名が集まり当社からも社長他12名が参加しました。前日に横浜スパークリングトワイライト花火ショーがあり、公園内にはタバコの吸殻やビニール、ペットボトル等があちらこちらに見当たりました。みんなで雑談と清掃を楽しみながら汗を拭きつつゴミを拾い集めました。公園内のゴミは思っていたよりも少なく、毎年の清掃活動の成果や環境に対するみんなの意識が高まってきているのではないかと感じました。最後に今年から始めたゴミ収集の測量結果は

**①ビン・缶27.8kg**
**②ペットボトル11.2kg**
**③その他一般ゴミ92.4kg**でした。

この数字が毎年少なくなれば清掃活動の成果を肌で感じられ、励みになると思います。お疲れ様でしたと声をかけ合い海風に吹かれながらきれいになった山下公園を、爽やかな気分で後にしました。(伊東)

## 社員交流　時代は変われど

74年前に二代目大川重吉社長銀婚祝賀会と従業員と家族慰安会の社員交流を記録した1枚の写真があります。当時の雰囲気が風景風俗と共に伝わって来る貴重な写真です。先輩方が、家族ぐるみ楽しそうに参加されているのが見て取れ、当時が忍ばれます。

大川重吉社長銀婚祝賀記念　従業員・家族慰安会(昭和11年撮影)

時は変わり、8月20日夕方から戸塚の本社駐車場にて交流委員会、親睦会の共催で、恒例の暑気払いが行われました。準備は総務部やパートさんも加わり着々と進みました。社員やパートさんのご家族も集い、乾杯の音頭により暑気払いはいざ開始。バーベキューに続いて行われた流しそうめんでは、水の流れる様子に夏の暑さも忘れ、そうめんが流れて、おいしそうにそうめんをすする顔は大人も子供も一緒ですね。そして、最後にスイカ割りが行われました。子供達が次々と挑戦しますが、なかなか割れない大きなスイカ、割れた瞬間に大きな拍手と歓声が湧き、美味しい食事と楽しいイベントで、とびきりの笑顔があふれる暑気払いとなりました。時代と社員は変われど、人の温かさを感じる風景は変わらずここにあると感じました。(堀井)

流しそうめん

スイカ割り

## 編集後記

インターン生が手掛けるプロジェクトの一つ、「CSRの和」。文章の書き方も一切分からない状態から始まり、何度も校正で躓きました。
特に、どうすれば読者は面白いと感じてくれるのか、また、取材した内容をどうすればうまく伝えることができるのか分からず、悩みましたが、デザイナーや広報委員の方々、そして読者の方の感想に支えられ今号まで製作することができました。本当に有難うございます!!
今後も引き続きCSRの和をどうぞよろしくお願いします。

堀井　里奈

伊東　浩之

記事としての文章を書く上で分かりやすく伝える事の難しさや文章の奥深さを感じました。今後も広報委員として、社内報製作に関わっていくので、とても良い勉強になりました。

皆さん今回の号も楽しんでいただけたでしょうか？今回の号でCSRの和編集も卒業と思うと寂しいです。短い間でしたが、今後も「CSRの和」の編集で学んだ事を生かしてがんばりたいと思います。読者の方も含め、これまでご協力頂いた皆さん、本当にありがとうございました。

阿川　美紀

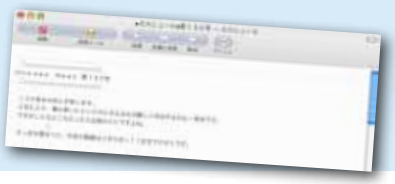
## ツイッターでリアルコミュニケーションを展開中！

Follow me

リアルタイムで大川印刷や横浜の情報が受け取れます！
大川印刷ツイッター：http://twitter.com/OhkawaPrinting　　大川社長ツイッター：http://twitter.com/tetsuo_ohkawa

## 大川ニュース好評配信中！

弊社では「大川ニュース」というメールマガジンも配信しています。弊社の活動や、社員の選んだ気になる情報・イベント・セミナーなどのニュースをお届けしています。
大川ニュースの配信をご希望される方は「mail@ohkawa-inc.co.jp 」までお願いします。




編　　集　大川印刷広報委員会
発　行　人　大川　哲郎
発　行　元　株式会社大川印刷
イ ラ ス ト　m-pochi

CSRの和へのご意見・ご感想は…
csr-wa@ohkawa-inc.co.jp まで
※メールアドレスを開設いたしました。
2010.11.1000



◆本社・工場
〒245-0053横浜市戸塚区上矢部町2053番地
TEL：045-812-1131(代) FAX：045-812-1135
◆横浜営業所
〒220-0011横浜市西区高島2-14-12
ヨコハマジャスト2号館3F
TEL：045-441-2011(代) FAX：045-441-2014
URL：http://www.ohkawa-inc.co.jp



環境に配慮して、FSC™森林認証紙にノンVOCインキ（石油系溶剤0%）で印刷しています。
メディアのユニバーサルデザインを推進するNPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会が「より多くの方が使いやすく見やすいメディア」であると認めた製品です。
MUD P10093　VOC FREE™　FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC™ C009309